

## IV. 研究成果の刊行物・別刷

20010743

以降 P.89-P.122は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので  
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

**V. エイズ対策研究推進事業  
研究成果等普及啓発事業**

〔研究成果等普及啓発事業〕  
(エイズ対策研究推進研究事業)  
結 果 報 告 書

1. ニヶ所の発表会開催者

福 岡 県：内藤 誠二 九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 教授  
神奈川県：河村 信夫 神奈川 STD 研究会会長・東海大学医学部教授

2. 開催日時・場所

福 岡 県：平成 14 年 1 月 19 日 (土) 13 時 30 分～16 時 00 分  
エルガーラホール 7 階 中ホール (福岡市中央区天神 1-4-2)  
神奈川県：平成 14 年 3 月 8 日 (金) 18 時 30 分～20 時 30 分  
横浜市社会福祉総合センター 4 階ホール(横浜市中区桜木町 1-1)

3. 共通発表テーマ：「若者と性の健康」(チラシ、ポスター参照)

4. 発表会参加者

福 岡 県：110 名  
神奈川県：74 名 (他に資料送付希望者 2 名)

5. 発表内容とその成果

かつて、エイズは同性愛者たちが感染する、いわば自業自得的な感染症と考えられていた。しかし近年、STD/HIV の一般市民への拡散は、今やわが国における公衆衛生学上の最重要課題となりつつある。

最近性感染症としての HIV 感染症も増加傾向を示している。そこで今回、本研究班の調査結果であるわが国の STD および HIV 感染の実態を公表し、一般市民にそれを予防するための正しい知識を普及・啓発する目的で本公開セミナーが開催された。

福 岡 県：第 1 部公開セミナーでは、熊本悦明先生が、「性のあるところ感染あり」という演題名で、STD/HIV に関する基礎知識および最近わが国において

エイズが急増している現状について報告した。特に、無症候性感染の多いクラミジア感染症が10～20代の若い女性を中心に蔓延し、今や女性の方が男性より感染率が高いことを指摘した。また、若い妊婦における高いクラミジア感染率、およびクラミジア感染妊婦における高い流早産率などについて述べ、クラミジアに罹患しているとエイズにかかりやすいので、妊婦健診におけるクラミジア検査の必要性を強調した。

田中正利先生は「福岡県における性感染症の現状」という演題名で、福岡県の性感染症における現状、および最近の淋菌感染症における問題点について報告した。福岡県は全STD罹患率が最も高く、なかでも男性の淋菌性尿道炎の罹患率が著明に高いことを報告した。最近、淋菌性尿道炎においては風俗女性とのオーラル・セックスを介した感染者が多いこと、ならびにキノロン耐性をはじめとする各種薬剤耐性淋菌の急増も淋菌感染症の増加の一因であると述べた。

入江幸子先生は、「低年齢化した性行動に伴う性感染症の危険性」と題し、小学校高学年から中学生におけるセックス経験の低年齢化など、性に関する問題点とエイズの知識不足を報告した。生徒らは性や性感染症に関して高い関心を示すものの、正しい知識が不足していると指摘した。そして、今後生徒らが性や性感染症／エイズに関する正しい知識を得るよう、学校教育においてそれらを取り上げていくことが重要であると指摘した。

神奈川県：第1部公開セミナーでは、安藤晴敏先生が高校の保健担当教諭の立場から「エイズ教育（性教育）の実践と課題」と題し、エイズ教育の現状と問題点、これからの課題を発表した。また、河村信夫先生が「神奈川県における性感染症」と題し神奈川県の現状を報告、また、熊本悦明先生が「若い人たちにひろがる性感染症」という演題で、若い人たちの性の健康を守るために、今、エイズ／性感染症問題を性教育の場でより積極的に取り組む重要性、必要性を発表した。

次のパネルディスカッションにおいては、二ヶ所の開催県の受講者から、STD／エイズの診断法、治療法、および予防法に関する多くの質問があり、活発なディスカッションがなされ、性感染症に関する関心の高さが示された。

以上のように、今回の公開セミナーは、一般市民に対してわが国におけるSTD／エイズ蔓延の状況および性行動の低年齢化を報告し、かつエイズに関する正しい知識を普及・啓発する上で極めて有益であった。

# 若者と 性の健康

厚生科学研究  
成果発表会

入場無料

平成14年1月19日(土)

13:30~16:00

(開場 13:00)

エルガーラホール7階  
中ホール

福岡市中央区天神1-4-2  
TEL 092-711-5017



開演挨拶 内藤 誠二 九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 教授

## 第1部 公開セミナー 司 会 内藤 誠二

### 1. 性のあるところ感染あり

熊本 悦明 厚生労働省STD疫学調査研究班班長  
財団法人 性の健康医学財団 会頭

### 2. 福岡県における性感染症の現状

田中 正利 九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 助教授  
福岡市STD研究会運営委員長

### 3. 低年齢化した性行動に伴う性感染症の危険性

入江 幸子 福岡県性教育研究会会長  
日本児童文芸家協会福岡支部長

## 第2部 パネルディスカッション

### 今、性感染症の大流行を考える

司 会 柏木征三郎 国立病院九州医療センター 院長

パネリスト 熊本 悦明 / 田中 正利 / 入江 幸子

主催：財団法人 エイズ予防財団

後援：財団法人 性の健康医学財団

福岡県 / 福岡県医師会 / 福岡市医師会

福岡市産婦人科医会 / 福岡地区皮膚科医会

福岡市泌尿器科医会 / 福岡県性教育研究会

福岡市STD研究会 /

朝日新聞社 / NHK福岡放送局

事務局：九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 田中正利  
TEL 092-642-5603 / FAX 092-642-5618

○ 参加申込み方法

当日会場へお越し下さればどなたでも参加できますが、座席の都合から、必ずファックスまたは E-mail で下記宛予め送信してください。

(参加申込み者多数の場合は抽選とさせていただきます。)

**送付先**

厚生科学研究「STD/HIV 予防啓発に関する研究班」事務局 川崎/水野

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-10 泰生ビル5F

TEL: 03-3813-4098 FAX: 03-3813-4107 E-mail: [std@mui.biglobe.ne.jp](mailto:std@mui.biglobe.ne.jp)

平成14年1月19日(土)開催

厚生科学研究成果発表会

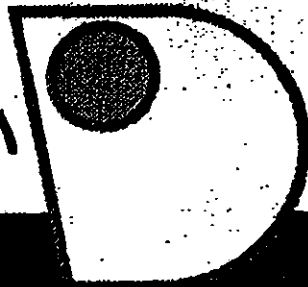
若者と性の健康

参加申込書

下記に必要な事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお送りください。

● 参加者名	フリガナ	□女性/□男性
	フリガナ	□女性/□男性
フリガナ	□女性/□男性	
● 会社名 または 団体名		
● 住所 (連絡先)	〒	
	TEL:	FAX:
	e-mail	

ふくおか



県総合

FUKUOKA

# 性感染症 県内で拡大

## 淋病、クラミジア 全国平均上回る

淋病やクラミジアなど、若い世代を中心に広がりを見せる性感染症（STD）の現状と予防を話し合う研究成果発表会「若者と性の健康」が十九日、福岡市中央区天神のエルガーラホールで開かれた。医療、教育関係者ら約百人が出席。二〇〇〇年の調査で、県内の淋病、クラミジアの新規感染者数が全国平均を上回ったことなどが報告された。

調査は、厚生労働省S

TD疫学調査研究班が全国八道県で実施。県内の感染状況を調べた九州大学大学院の田中正利助教授が、十万人当たりの淋病の新規感染者数は男性二百三十人、女性五十三人で全国平均（男性百一十五人、女性三十三人）を大きく上回り、男性は一九九四年に比べて三・六倍となっていると発表。クラミジアの新規感染者も男女とも全国平均を上回っていると報告した。

この日は、研究班班長

西日本新聞、2002年(平成14年)

1月20日 日曜日

で「性の健康医学財団」会長の熊本悦明氏、県性教育研究会会長で、日本児童文芸家協会福岡支部長の入江幸子さんも報告に立ち、パネリストとなつて田中助教授と論

議。「若い世代は性行動が活発なのに性知識が未熟。エイズが性感染症であることすら知らない世代が少なくない。性教育の徹底を」「クラミジアは女性の自覚症状が薄い。ほつておけば不妊症にもつながる。積極的に検診を呼びかけるべきだ」などの意見が出た。



3月8日(金)

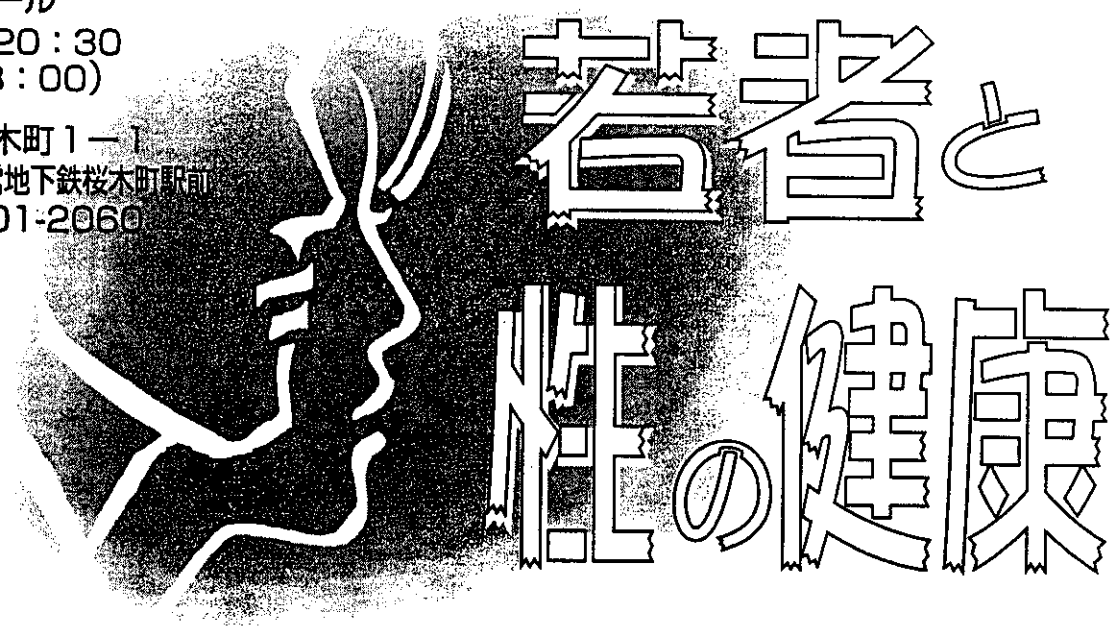
横浜市社会福祉総合センター  
4階ホール

18:30~20:30  
(開場 18:00)

横浜市中区桜木町1-1  
JR/東横線/横浜市営地下鉄桜木町駅前  
TEL 045-201-2060

厚生科学研究  
エイズ疫学研究成果発表会

入場  
無料



開会の辞 河村 信夫 (神奈川県STD研究会会長・東海大学医学部教授)

第1部 **公開セミナー**

1. エイズ教育(性教育)の実践と課題

安藤 晴敏 (神奈川県立弥栄東高等学校教諭)

2. 神奈川県における性感染症

河村 信夫

3. 若い人たちにひろがる性感染症 — エイズ/性感染症問題を性教育の現場に

熊本 悦明 (厚生科学研究エイズ疫学班主任研究者・(財)性の健康医学財団会頭)

第2部 **パネルディスカッション**

今、性感染症の大流行を考える 司会：安藤 晴敏

パネリスト：川名 尚 (帝京大学医学部溝口病院産婦人科)

河村 信夫

熊本 悦明

閉会の辞 川名 尚

主催：財団法人エイズ予防財団

後援：横浜市/神奈川県産婦人科医会/神奈川県泌尿器科医会  
神奈川県感染症学会/財団法人性の健康医学財団

事務局：神奈川県STD研究会

連絡先：(財)性の健康医学財団 TEL 03-3813-4098 担当川崎/水野

## エイズ疫学に関する研究班 研究者

熊本 悦明	財団法人 性の健康医学財団会頭 札幌医科大学名誉教授
鳥崎 継雄	日本性科学情報センター所長
行天 良雄	国際医療福祉大学教授 NHK OB, 評論家
小谷 直道	読売新聞東京本社 特別編集委員
大熊由紀子	大阪大学教授 前朝日新聞東京本社論説委員
南谷 幹夫	元東京都立駒込病院感染症科部長 東京都非常勤医員
川名 尚	帝京大学医学部溝口病院産婦人科 日本性感染症学会理事長
木原 正博	京都大学大学院医学研究科 国際保健学講座教授
松田 静治	財団法人性の健康医学財団副会頭 江東病院顧問
石川 弘義	成城大学教授
堀口 雅子	性と健康を考える女性専門家の会会長

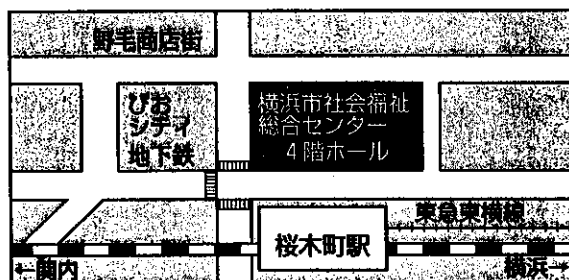
### ○参加申込み方法

当日会場へお越し下さればどなたでも参加できますが、  
座席の都合から、できるだけファックスまたは e-mail  
で下記宛予め送信してください。

#### 送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-10 泰生ビル 5階  
厚生科学研究「STD/HIV予防啓発に関する研究班」  
事務局 (財) 性の健康医学財団内 担当：川崎、水野  
TEL : 03-3813-4098 FAX : 03-3813-4107  
e-mail : std@muj.biglobe.jp

### 会場案内図



横浜市社会福祉総合センター 4階ホール  
JR京浜東北線、東急東横線、市営地下鉄線 桜木町駅下車 徒歩2分  
京浜急行線 日の出町駅下車 徒歩8分

## 厚生科学研究「エイズ疫学研究班」 公開セミナー参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、FAX または e-mail でお送りください。

横浜会場		
●参加者名	フリガナ	<input type="checkbox"/> 女性 / <input type="checkbox"/> 男性
	フリガナ	<input type="checkbox"/> 女性 / <input type="checkbox"/> 男性
●会社名または団体名		
●住所 (連絡先)	〒	
	TEL	FAX
	e-mail	

---

厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

“性感染症としての HIV 感染” 予防のための市民啓発を、  
各種情報メディアを通して具体的に実施実行する研究計画

平成 13 年度研究報告書

発行：平成 14 年 3 月

発行者：主任研究者 熊本 悦明

事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-14-10

(財) 性の健康医学財団

TEL 03-3813-4098

---